

合格体験記

先輩の言葉

名古屋大学 理学部 (男子生徒) ①

私が受験勉強を本格的にやり始めようとしたのは3年生の始めあたりからでした。模試の結果を見て「意外といけるかも」と思ったので、もっと安全に合格できるように勉強に励もうと思いました。しかし、どうしても自分だけでは勉強があまりにもできないので、補習をしっかりと受講して、休まず取り組むことを続けました。とにかく問題を解き続けることで、できない問題を発見することがとても大事だと思うので、模試も真剣に取り組み、入試対策教材は最後までやりました。そして、共通テストの自己採点でぎりぎりボーダーラインの点数を取れていたため、「いけるだろう」という手応えを励みに何とか勉強を続け、二次試験でもうまく乗り越えることができました。

私は、勉強はとにかく基礎をしっかり定着する必要があると思います。ここをしっかりとさせず応用をやるうとしてもどうしようもないです。基礎をつけるために、おすすめなのは、形だけを覚えるのではなく、意味・本質をとらえてそのイメージを持つことです。また、疑問が高校範囲だけで解決しないならば、それを超える範囲のことも見てみると、とても良いと思います。授業や問題演習でわからなくても、今は便利な動画があるのでそれを見て参考にしても良いです。

また、受験勉強で特に大変なのはメンタル面だと思います。私は、おそらくストレスで少し厄介な症状を患って、授業や入試の時に大変でした。これは、いきなり勉強をたくさん始めたストレスだと考えています。今思えばもっと自主的に少しずつ始めておけば、ここまで面倒なことにはならなかったと思います。私は散々「少しずつ勉強しろ」と言われていたのに、コツコツとやってこなかったのは、とても後悔しています。最後に、あきらめないでやり続け、不屈の精神をもって受験をやり遂げることは、人生のうちでも大切な経験になると思います。そして、努力をすれば実ることもあるので、その可能性を信じて頑張ってください。

千葉大学

法政経学部 法政経学科 (男子生徒) ②

私はこの度千葉大学法政経学部合格しました。僭越ながら、この合格体験記を書くにあたって私の体験したことを綴らせていただきます。

私達の学年は未曾有のコロナ禍や大学入試改革に伴う共通テスト導入に振り回され、臨機応変な対応を迫られました。

私自身、春期の休校により第1志望の決定や受験勉強の開始が人一倍遅く、高3の10月頃の模試までは第4・第5志望の大学でもE判定と、直前まで悩まされました。勉強の成果が現れたのは11月に行われた共通プレテスト模試です。第2志望の大学でB判定が出ました。しかし、私はその結果だけを見てしまい、記述模試の判定は依然としてE判定であるにもかかわらず、調子に乗ってしまいました。迎えた共通テスト本番、自己ベストの得点を更新したものの、共通テストリサーチの結果は、第1志望はE、第2志望はBからD判定へと落ちてしまい、そこで初めて自分の非力さを痛感しました。私は第1志望を諦め、第2志望への出願を決めましたが、記述模試とのドッキング判定ではE判定で、挑戦者としての自分の立場は変わりませんでした。

ここまで散々模試での判定の話をしてきましたが、私が伝えたいことは、判定はその時点での結果に過ぎないということです。どんな判定でも受かる人は受かるし、落ちる人は落ちます。逆境を乗り越える精神力が必要です。クラスメイトや家族、先生など自分を支えてくれる人たちを大切にしましょう。

信州大学 工学部 (男子生徒) ③

私は、国公立大学の公募制推薦制度で第1志望の信州大学に合格しました。

私は、1年生の時から1度も休まず学校に行き、普段の生活をしっかり行うことを努力しました。例えば、授業を真面目に受けて、課題の期限は守り、終礼テストにも手を抜かず取り組みました。特に、定期テストは赤点を取らないことだけではなく、上位を目指して毎日頑張りました。部活動でも同様に、休まず毎日参加したことで上達したと思います。加えて、ボランティア活動にも興味があったので、1年生の時から2年間、ボランティア委員として活動しました。

私が本格的に受験勉強を始めたのは、部活動を引退した5月下旬からです。それから毎日、塾に通って勉強するようになりました。私は家に帰ると長い時間ダラダラと過ごしてしまうので、少しの時間でも、毎日継続することで集中できて、大切な時間だったと思います。

この3年間コツコツ積み重ねてきたことを自分のアピールポイントとして、受験に臨みました。何事も積み重ねて頑張ることで、自分の強みに変わるのでと思いました。

もう1つ自分の受験について良かった点は、早めに大学について調べ、第1志望を決めていたことです。目標がないまま勉強するより、目標に向けて必要なことを重視して、効率よく勉強するほうが、やる気が出て身が入りました。

受験は、数学、物理、英語の口答試問と面接、発想力テストがありました。対策として口答試問は一般的にやるべきだと思いますが、物理は特に電気系をやるほうが良いと思います。

最後に、今日の目の前にあるやれることをやりきることが、私は大切だと思います。頑張ってください。

静岡大学 教育学部

保健体育学科（女子学生） ④

私は3年生で部活を引退してから本格的に受験勉強に励みました。今思うことは、やはりもっと早くから継続して勉強すべきだったということです。私は考査前週間にはしっかり勉強して良い順位が取れるように頑張っていました。しかし、いくら良い順位を取ったとしても、テスト直前に詰め込む短期記憶で覚えた内容はすぐに忘れてしまいます。するとせっかく夜遅くまで頑張った努力も受験勉強の時にはなかったことになってしまいます。ですからせっかくの努力を無駄にしないためにも早くから毎日、少しでもいいから勉強する習慣を身につけることが大切だと思います。「まだ大丈夫」とか「きつそう」と思っている人が大半だと思います。でも、私もまだ大丈夫と思って先延ばしにした結果、追い込まれることになったし、ぎりぎりになって焦って勉強し始めるほうがよほどきついです。もちろん友達と遊んだり、部活に励んだりすることも大切です。勉強とうまく両立させることで充実した学校生活を送ることができるし、部活を継続することで自信になり必ずあなたの強みになります。しっかりと自分なりの軸を持って周りに流されず頑張ってください。

最後に、私が受験期にやっていたおすすめ勉強法を3つ紹介します。1つ目は夜型から朝型の勉強スタイルに変えることです。私は日付が変わる前にベッドに入って単語帳を見ながら寝て、5時くらいに起きて勉強していました。2つ目は携帯アプリで勉強時間を可視化することです。目標時間を決めてタイマーで勉強時間を計って記録することで達成感を味わえ、モチベーションが上がり勉強が楽しくなります。3つ目は、教科ごとに「この1冊をやり込む」と決めて取り組むことです。私は学校の教材より自分で選んだ教材のほうがやる気がでたので、その1冊を隅から隅まで読み込みラインマーカーを引いたり、付箋を貼ったり書き込みを入れたりしてボロボロになるまで使い込みました。自己満足で終わらせず何度もやるのが大切です。

受験勉強をされていて焦ることもあると思いますがすぐに成果が出ないのは当然です。あきらめず、努力し続けてください。努力は報われます。

中京大学 総合政策学部

総合政策学科 (男子生徒) ⑤

みなさんは毎日勉強できていますか。僕は部活や遊びに明け暮れ、テスト週間以外はほとんど勉強していませんでした。そんな生活を過ごしているうちに2年生の2学期に入り、進路関係の話が増え、初めて進路について真剣に考えました。

当時、僕はやりたいことが無く、はっきりした目標を定めることができず、勉強に対するモチベーションがなかった為、長く続かないことが多くありました。その後、焦りからモチベーションを取り戻し、1日のほとんどの時間を勉強に費やしましたが、基礎を固めるだけで3ヵ月近くかかってしまいました。

みなさんには僕のようになってほしくありません。僕は、受験で小論文が試験内容にありました。対策として、四字熟語を覚えたり、新聞を読んだりしました。シンプルな対策だけれど有効だったと思います。まずは簡単なことから初めて継続してみてください。きっと役に立つと思います。

また、自分の将来について早い段階から考えることが大切だと思います。前に述べたように、目標が不確定のままだと継続は困難だと思います。将来何をしたいか、そんなことは寝ながらだって考えられます。先送りにしないで、早くから決めておくの良いと思います。やりたいことが無い人は積極的に先生に相談してみてください。僕は先生との話し合いの中で、興味を持てるものを見つけることができました。

この文章を読んだだけで行動に移すことができる人は多くないと思います。行動に移すことができる人はライバルと大きく差をつけることができます。頑張ってください。

中部大学 生命健康科学部

作業療法学科 (女子生徒) ⑥

私は、志望の大学をAOポートフォリオ入試という新しい入試方法を使って受験しました。ポートフォリオとは学校内外の活動を記録するもので、東高では入学当初から、自分の経験を記録するように勧められていました。私がこの入試で合格できた要因として、1つは色々な学校行事に積極的に参加したことが挙げられます。私は、部活では部長を務め、先生に勧められて1年生の後期から生徒会に参加していました。また、生徒会を通じて、校内では沢山の学校行事に関わり、校外では福祉施設でお年寄りの方と触れ合ったり、テーマに沿って行う高校生意見交換会のイベントに参加したりしました。

もう1つの要因は、進路希望がはっきりしていたことです。私の場合、1年生の時から将来の目標がはっきりしていたので、文理選択の際に受験に必要な生物を選択するために理系に進みました。生物の授業では、様々な実験や解剖を体験することができました。

これらの経験は、AOポートフォリオ入試の出願の際に、色々な資料を提出する中で、大いに役に立ちました。また、面接でもこの学部に入りたいという強い思いをアピールすることができました。

私は元々、自分の時間を削って活動に参加することに消極的でした。しかし、周りの後押しもあり、色々経験することによってAOポートフォリオ入試にもチャレンジしてみようと思いました。色々な事に挑戦することは、自分の将来につながっています。勉強はもちろん大事ですが、行事やボランティアなどに、是非積極的に取り組んでみて下さい！

名古屋短期大学 保育科

(女子生徒) ⑦

私は、本格的に受験勉強を始めた日はありません。1年生の時から勉強と部活動と両立し、効率よく勉強しました。テスト前は、上位を取るために長時間向き合いました。そのため、勉強をすることが当たり前となり、私の習慣になりました。

1年生の時、私は四年制大学を志望していました。短期大学に希望を変更した理由は、3年生の6月に行ったオープンキャンパスで、専攻科について知ったからです。2年間短期大学で学び資格を取得してから、専門的な知識を学ぶことができる仕組みです。2年間の学びから資格を取得し、その資格を利用して就職し、収入を得ながら更に学びを深められるものです。このように、短期大学なら、就職、大学への編入、専攻科といったように2年後の選択の幅を広げることができます。

受験は1次試験が小論文、2次試験で面接でした。コロナウイルスが流行していたため、どちらも苦手でしたが、日程が一番早い受験方法を選びました。小論文では、先生に毎回添削していただくことで、文章の書き方を学び、面接では先生方をお願いをして協力していただきました。最初は全く話すことができませんでしたが、先生方のアドバイスもあり、少しずつ自分の考えをしっかりと伝えられるようになり、自信を持って受験に臨むことができました。

「最悪な場合に備えて最善を尽くせる子」受験を終えてから、担任の先生にいただいた言葉です。私は、もし最悪な場合が起きたらどうするのか、起きないためには何をすべきか、先のことまで考え行動するよう心掛けていました。

受験勉強は、焦りや、やりたいことができないことへのストレスで、精神的に辛くなることもあるかと思われませんが、勉強を継続する中で息抜きもし、対策を十分に行い、自信を持って受験してください。皆さんの進路実現を心から祈っています。頑張ってください。

春日井小牧看護専門学校 (女子生徒) ⑧

私は普段の家庭学習時間が短く、受験勉強への取りかかりも早くありませんでした。そんな中でも大切にしていたことは、日々の学校生活です。私は学校生活内でできることを見つけて取り組んできました。

まずは、普段の授業でのノルマを決めることです。「この授業で学んだ用法〇つは授業内で完璧にする」「今日は最低〇単語覚える」などノルマを決めて授業に取り組んでいました。習ったことを何度も頭の中で繰り返すことで、定着していくことができたと思います。

次に、補習です。看護専門学校を志望していた私にとって、看護数学の補習はとても力になりました。各学校の過去問を解き、出題傾向を掴むことができたからです。多くの問題を解くことで、自分の苦手な部分を克服でき、当日の安心や余裕につなげることができました。

最後に、放課後についてです。私は家に帰ると勉強にとりかかるのが遅くなってしまうので、放課後は学校に残り勉強をしていました。学校で勉強することで、携帯を触ることなく集中して取り組みました。また、合格という同じ目標の仲間がいるため、「周りはこんなに頑張っている」という焦りが生まれ、この焦りが勉強への良い刺激となり、自分に喝を入れることができました。

意識を変えるだけでも、学校で得られることは多くあると思います。また、コロナの事があったように、いつ何が起ころかわかりません。万一の事があった時に、必要以上に焦らないように何事も早めに準備しておくことが大切だと思います。

中部美容専門学校（女子生徒） ⑨

夢や目標がある人が行く。大学や就職する人も同じですが、専門学校を考えている人は特に当てはまることだと思います。実際に私が参加したオープンキャンパスでは、興味や意志が弱かったり、軽い気持ちで入学したりした生徒は実際の授業についていくことが難しく、辞めていくことが多いという話を聞きました。だから今もし、「受験勉強したくない」とか「大学で勉強するよりも楽そうだ」とか、なんとなくの軽い気持ちで専門学校を考えている人はもう一度よく考えてみることをお勧めします。

私が進路を専門学校に決めてからは、とにかく色々な学校の特徴や違いを、インターネットの口コミを見たり、オープンキャンパスへ行ったりするなど、たくさん調べました。今年は残念ながら、コロナウイルスの影響でオープンキャンパスが中止になってしまい、3年生になってからは実際に話を聞くというチャンスが無くなってしまいましたが、気になる学校があるなら、やっぱり資料やインターネットよりもオープンキャンパスへ行って実際に知ることをおすすめします。

受験対策として、私は試験内容が面接のみだったので、とにかく面接練習をしていました。まずは、志望理由を箇条書きにして書き出し、次にインターネットで面接のポイントについて調べ、最後に何日かかけてスラスラ自分の言葉で言うことができる練習をしました。文を考えてそれを覚えてから話そうとすると、忘れてしまったときにとっても焦るので、初めに箇条書きしたことを頭に入れておいて言うと応用できるし、詰まることもないと思います。多少失敗しても、自分の熱意を一生懸命伝えましょう。

合否が出てからはやっぱり気が緩みますが、私は定期テストの勉強を最後まで気を抜きませんでした。多少気が緩んでも、何か1つ頑張ることの目標を持ちましょう。合格ではなく卒業がゴールです。

受験は辛く苦しいものです。諦めずに頑張ってください。

就職 (男子生徒) ⑩

僕は高校1年生の時から就職と進学について半分半分の気持ちで考えていました。1年生の間は部活をやっていたり、勉強で遅れをとらないように努力したりしていたので、進路に関してはそこまで真剣に考えられていませんでした。2年生になって文系のクラスに入り、テストでも順調に成績を上げることができたので、進学の方に強く意識を向けるようになりました。しかし、部活を辞めて自分の進路について考える時間が多くなり、僕が大学に入ったら何をするかについて考えてみたところ、学びたいことが特にないと気がつきました。2年生の夏から家庭の環境も少し変わって、就職の道に進もうという気持ちがより強くなりました。

2年生の3月から3年生の6月まで新型コロナウイルスの影響で休校が続き、進路に関しての話は全然進まず、7月に求人票が公開されてからも例年より行動を起こす時期が少し遅くなってしまいました。学校に送られてきた求人票の数も昨年度と比べるとかなり減ってしまったり、職種や会社を紹介するイベントが中止になったりと新型コロナウイルスの影響が大きくでていました。そんな中でも授業後の時間を有効に使って自分が気になった職業を絞り込み、3社ほど職場見学に参加することができました。そして、行きたいと思う会社を1社に決めて面接を受け、無事に内定をもらうことができました。

今年度は外出自粛期間があったので勉強について気を抜くことなく良い成績を維持することができました。就職しようと考えている人へ僕からアドバイスがあるとしたら、勉強は大学進学の人に負けないくらいの強い気持ちで挑んだほうが全体的なモチベーションを上げることができるということと、面接試験当日はいくら体調万全でスケジュールもしっかり組んでいたとしても何が起きるかは分からないので、油断しないほうがいいということです。そして一番大切なのは、自分をどれだけ知ることができるかだと思います。